

宿泊約款

(適用範囲)

- 第1条 当ホテルが宿泊客との間で締結する宿泊契約およびこれに関連する契約は、この約款の定めるところによるものとし、この約款に定めのない事項については、法令又は一般に確立された慣習によるものとし、
- 2 当ホテルが法令及び慣習に反しない範囲で特約に応じたときは、前項の規定にかかわらず、その特約が優先するものとします。

(宿泊契約の申込み)

- 第2条 当ホテルに宿泊契約の申込みをしようとする者は、次の事項を当ホテルに申し出ていただきます。
- (1) 宿泊者名および電話番号
 - (2) 宿泊日及び到着予定時刻
 - (3) 宿泊料金（原則として別表第1の基本宿泊料による。）
 - (4) その他当ホテルが必要と認める事項
- 2 宿泊客が、宿泊中に前項第2号の宿泊日を超えて宿泊の継続を申し入れた場合、当ホテルは、その申し出がなされた時点で新たな宿泊契約の申込みがあったものとして処理します。

(宿泊契約の成立等)

- 第3条 宿泊契約は、当ホテルが前条の申込みを承諾したときに成立するものとし、宿泊に際しては当ホテル宿泊約款を契約内容として適用させていただきます。また、インターネットからの宿泊申し込みに関しては、当ホテル宿泊約款に加え、各予約サイトの利用規約も適用させていただきます。ただし、当ホテルが承諾をしなかったことを証明したときは、この限りではありません。
- 2 前項の規定により宿泊契約が成立したときは、宿泊期間（3日を超えるときは3日間）の基本宿泊料を限度として当ホテルが定める申込金を、当ホテルが指定する日までに、お支払いいただきます。
- 3 申込金は、まず、宿泊客が最終的に支払うべき宿泊料金に充当し、第6条及び第18条の規定を適用する事態が生じたときは、違約金に次いで賠償金の順序で充当し、残額があれば、第12条の規定による料金の支払いの際に返還します。
- 4 第2項の申込金を同項の規定により当ホテルが指定した日までにお支払いいただけない場合は、宿泊契約はその効力を失うものとし、申込金の支払期日を指定するに当たり、当ホテルがその旨を宿泊客に告知した場合に限ります。

(申込金の支払いを要しないこととする特約)

- 第4条 前条第2項の規定にかかわらず、当ホテルは、契約の成立後同項の申込金の支払いを要しないこととする特約に応じることがあります。
- 2 宿泊契約の申込みを承諾するに当たり、当ホテルが前条第2項の申込金の支払いを求めなかった場合および当該申込金の支払期日を指定しなかった場合は、前項の特約に応じたものとして取り扱います。

(宿泊契約締結の拒否)

- 第5条 当ホテルは、次に掲げる場合において、宿泊契約の締結に応じないことがあります。
- (1) 宿泊の申込みが、この約款によらないとき。
 - (2) 満室（員）により客室の余裕がないとき。
 - (3) 天変地異（地震、台風、津波、火山噴火、集中豪雨等）、テロ事件・国際紛争の勃発、新型インフルエンザ等対策特別措置法第24条第9項または同法第45条第2項に基づく要請等を受け臨時休業（部分的休業を含む）する他、施設の故障、その他やむを得ない事由により宿泊させることができないとき。
 - (4) 宿泊しようとする者が、宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき。
 - (5) 宿泊しようとする者が、暴行、傷害、強要、脅迫、恐喝、詐欺及びこれに類する行為を行った又は行う恐れのあるとき。
 - (6) 宿泊しようとする者が、喧騒・泥酔等により、宿泊又は利用する他のお客様に著しく迷惑を及ぼす言動を行った又は

行う恐れのあるとき。

- (7) 宿泊しようとする者が、「暴力団による不当な行為の防止等に関する法律」に定める各種暴力団組織に関与しているとき。また、それに準ずる団体や組織に関与していると思われるとき。
- (8) 宿泊客が前項に準ずる者、あるいは当ホテルが前項目の者とみなす団体あるいは組織、もしくは偽計や威迫を用いる団体その他これら組織に関与していると思われるとき。
- (9) 宿泊しようとする者が、刑事事犯による手配・逮捕・検挙・起訴・有罪判決のあったとき。
- (10) 宿泊しようとする者が、過去に当ホテルに対して代金支払い遅延などトラブルがあったとき。
- (11) その他、上記(4)～(10)に準ずる事由があるとき。
- (12) 宿泊しようとする者が、明らかに宿泊料金支払い能力がないと認められるとき。
- (13) 宿泊しようとする者が挙動不審と認められるとき。
- (14) 宿泊しようとする者が、明らかに伝染病者であると認められるとき。
- (15) 宿泊しようとする者が、当ホテルもしくは当ホテル従業員に対し暴力的要求行為を行い、または合理的な範囲を超える負担を要求したとき。
- (16) 旅館業法第五条ならびに当ホテルを管轄する自治体が定める旅館業法施行条例（別表第3）の規定する場合に該当するとき。

(宿泊客の契約解除権)

- 第6条 宿泊客は、当ホテルに申し出て、宿泊契約を解除することができます。
- 2 当ホテルは、宿泊客がその責めに帰すべき事由により宿泊契約の全部又は一部を解除した場合（第3条第2項の規定により当ホテルが申込金の支払期日を指定してその支払いを求めた場合であって、その支払いより前に宿泊客が宿泊契約を解除したときを除きます。）は、別表第2に掲げるところにより、違約金を申し受けます。ただし、当ホテルが第4条第1項の特約に応じた場合にあっては、その特約に応じるにあたって、宿泊客が宿泊契約を解除したときの違約金支払義務について、当ホテルが宿泊客に告知したときに限ります。
- 3 当ホテルは、宿泊客が連絡をしないで宿泊日当日の午後8時（あらかじめ到着予定時刻が明示されている場合は、その時刻を2時間経過した時刻）になっても到着しないときは、その宿泊契約は宿泊客により解除されたものとみなし処理することがあります。

(当ホテルの契約解除権)

- 第7条 当ホテルは、次に掲げる場合においては、宿泊契約を解除することがあります。
- (1) 宿泊客が宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき、又は同行為をしたと認められるとき。
 - (2) 宿泊客が当ホテルに対して、ご利用代金の支払いをいただけなかったとき、あるいは遅延したとき。
 - (3) 宿泊客が宿泊契約の締結時に、虚偽の申請をしたとき。
 - (4) 宿泊客が「暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律」で指定されている反社会的な団体、過激行動団体、その他これに類する団体の構成員またはそれに関与しているとき。
 - (5) 宿泊客が前項に準ずる者、あるいは当ホテルが前項目の者とみなす団体あるいは組織、もしくは偽計や威迫を用いる団体その他これら組織に関与しているとき。
 - (6) 宿泊客が暴行・傷害・強要・脅迫・恐喝・詐欺および、それに類する行為を行ったとき。
 - (7) 宿泊客が喧騒な行為のほか、泥酔等により他の宿泊客に迷惑を及ぼす恐れのあるとき、または他の宿泊客に著しく迷惑を及ぼす言動をしたとき。
 - (8) 宿泊しようとする者が、刑事事犯による手配・逮捕・検挙・起訴・有罪判決のあったとき。
 - (9) その他、前各号に準ずる事由があるとき。
 - (10) 宿泊客が明らかに伝染病者であると認められるとき。
 - (11) 宿泊客が、当ホテルもしくは当ホテル従業員に対し暴力的

宿泊約款

要求行為を行い、または合理的な範囲を超える負担を要求したとき。

- (12) 天変地異（地震、台風、津波、火山噴火、集中豪雨等）、テロ事件・国際紛争の勃発、新型インフルエンザ等対策特別措置法第24条第9項または同法第45条第2項に基づく要請等を受ける等、不可抗力に起因する臨時休業（部分的休業を含む）等の事由で宿泊させることができないとき。
 - (13) 寝室での寝たばこ、消防用設備等に対するいたずら、その他当ホテルが定める利用規則の禁止事項（火災予防上必要なものに限る。）に従わないとき。
 - (14) 旅館業法第五条ならびに当ホテルを管轄する自治体が定める旅館業法施行条例（別表第3）の規定する場合に該当するとき。
- 2 当ホテルが前項の規定に基づいて宿泊契約を解除したときは、宿泊客がまだ提供を受けていない宿泊サービス等の料金はいただきません。
 - 3 当ホテルが本条第1項の規程に基づいて宿泊契約を解除した場合、それに伴う損害については、一切賠償しません。

（宿泊登録）

第8条 宿泊客は、宿泊日当日、当ホテルのフロントにおいて、次の事項を登録していただきます。

- (1) 宿泊客（同室者を含む）の氏名、住所、電話番号（連絡先を含む）、性別および年齢
 - (2) 勤務先名および電話番号
 - (3) 外国人にあつては、上記（1）事項のほか、国籍、旅券番号、入国地および入国年月日
 - (4) 日本国内に住所を有しない外国人の宿泊者にあつては、旅券を提示していただき、複写の上保存させていただきます。
 - (5) 出発日および出発予定時刻
 - (6) その他当ホテルが必要と認める事項
- 2 宿泊客が第12条の料金の支払いを、宿泊券、クレジットカード等日本円に通貨に代わり得る方法により行おうとするときは、あらかじめ、前項の登録時にそれらを呈示していただきます。

（客室の使用時間）

第9条 宿泊客が当ホテルの客室を使用できる時間は、午後3時から翌日午前11時までとします。ただし、連続して宿泊する場合には、到着日および出発日を除き、終日使用することができます。

- 2 当ホテルは、前項の規定にかかわらず、同項に定める時間外の客室の使用に応じることがあります。この場合には次に掲げる追加料金を申し受けます。
 - (1) 超過3時間までは、室料金の3分の1
 - (2) 超過6時間までは、室料金の2分の1
 - (3) 超過6時間以上は、室料金の全額

（利用規則の厳守）

第10条 宿泊客は、当ホテル内においては、当ホテルが定めてホテル内に掲示した利用規則に従っていただきます。

（営業時間）

第11条 当ホテルの主な施設等の営業時間は、ホームページ、備え付けのパンフレット、各所の掲示および客室内インフォメーション等でご案内します。

- 2 営業時間は必要やむを得ない場合には、臨時に変更する場合があります。その場合は適当な方法をもってお知らせします。

（料金の支払い）

第12条 宿泊客が支払うべき宿泊料金等の内訳及びその算定方法は、別表第1に掲げるところによります。

- 2 前項の宿泊料金等の支払いは、日本円又は宿泊券、クレジットカード等これに代わり得る方法により、当ホテルが請求した時、フロントにおいて行っていただきます。
- 3 当ホテルが宿泊客に客室を提供し、使用が可能になったのち、宿泊客が任意に宿泊しなかった場合においても、宿泊料金は申し受けます。

（当ホテルの責任）

第13条 当ホテルは、宿泊契約及びこれに関連する契約の履行に当たり、又はそれらの不履行により宿泊客に損害を与えたときは、その損害を賠償します。ただし、それが当ホテルの責めに帰すべき事由によるものでないときは、この限りではありません。

- 2 当ホテルは、万一の火災等に対処するため、旅館賠償責任保険に加入しております。

（契約した客室の提供ができないときの取扱い）

第14条 当ホテルは、宿泊客に契約した客室を提供できないときは、宿泊客の了解を得て、できる限り同一の条件による他の宿泊施設をあっ旋するものとします。

- 2 当ホテルは、前項の規定にかかわらず他の宿泊施設のあっ旋ができないときは、違約金相当額の補償料を宿泊客に支払い、その補償料は損害賠償額に充当します。ただし、客室が提供できないことについて、当ホテルの責めに帰すべき事由がないときは、補償料を支払いません。

（寄託物等の取扱い）

第15条 宿泊客がフロントにお預けになった物品又は現金、有価証券およびその他の高価品（貴重品を含む）について、滅失、毀損等の損害が生じたときは、それが、不可抗力である場合を除き、当ホテルは、その損害を賠償します。ただし、現金、有価証券その他の高価品（貴重品を含む）については、当ホテルがその種類及び価額の明告を求めた場合であつて、宿泊客がそれを行わず、お預けになったときは、当ホテルは30万円を限度としてその損害を賠償します。

- 2 宿泊客が、当ホテル内にお持込みになった物品、現金、有価証券およびその他の高価品（貴重品を含む）であつてフロントにお預けにならなかったものについて、当ホテルの故意又は過失により滅失、毀損等の損害が生じたときは、当ホテルは、その損害を賠償します。ただし、宿泊客からあらかじめ種類および価額の明告のなかったものについては、当ホテルに故意または重大な過失がある場合を除き、30万円を限度として当ホテルはその損害を賠償します。

（宿泊客の手荷物又は携帯品の保管）

第16条 宿泊客の手荷物が、宿泊に先立って当ホテルに到着した場合は、その到着前に当ホテルが了解したときに限って責任をもって保管し、宿泊客がフロントにおいてチェックインする際お渡しします。

- 2 宿泊客がチェックアウトしたのち、宿泊客の手荷物又は携帯品が当ホテルに置き忘れられていた場合において、当ホテルは原則として所有者からの照会の連絡を待ちその指示を求めます。所有者からの指示がない場合は、貴重品については発見日を含め7日以内に最寄りの警察署へ届け、その他の物品については3ヶ月経過後処分します。ただし、飲食物・たばこ・雑誌等は即日処分します。
- 3 前2項の場合における宿泊客の手荷物又は携帯品の保管についての当ホテルの責任は、第1項の場合にあつては前条第1項の規定に、前項の場合にあつては前条第2項の規定に準じるものとします。

（駐車場の責任）

第17条 宿泊客が当ホテルの管理する駐車場（以下「ホテル駐車場」という）をご利用になる場合、車両のキーの寄託の如何にかかわらず、当ホテルは場所をお貸しするものであつて、車両の管理責任まで負うものではありません。ただし、駐車場の管理に当たり、当ホテルの故意又は過失によって損害を与えたときは、その賠償の責めに任じます。

- 2 宿泊客が当ホテルよりご案内する駐車場をご利用になる場合であっても、当ホテルは、駐車場内での事故・盗難等の事象には一切責任を負いません。

（宿泊客の責任）

第18条 宿泊客の故意又は過失により当ホテルが損害を被ったときは、当該宿泊客は当ホテルに対し、その損害を賠償していただきます。

宿泊約款

(免責事項)

- 第19条 宿泊客の故意または過失により宿泊客が被った損害について当ホテルは一切の責任を負いません。
- 2 当ホテル内からのコンピューター通信のご利用にあたっては、お客様自身の責任にて行うものとします。コンピューター通信のご利用中にシステム障害その他の理由によりサービスが中断し、その結果利用者がいかなる損害を受けた場合においても、当ホテルは一切の責任を負いません。また、コンピューター通信のご利用にあたって、当ホテルが不適切と判断した行為により、当社および第三者に損害が生じた場合、その損害を賠償していただきます。

(支配する言語)

- 第20条 本約款は日本語以外の言語でも作成されますが、約款と翻訳文の間に不一致または相違があるときは、日本語が全ての点について支配するものとします。

(宿泊約款の改定について)

- 第21条 経済情勢や関連法令など外的要因の変化に対応するため、または当社の経営・運営状況に変化があった場合、料金やサービス内容等に関する条項をはじめとした本約款の内容を改定することがあります。
- その場合、当ホテルはあらかじめ改訂版を遅滞なく本ホームページ上に公開し、また、最終改定日を明示します。

別表第1 宿泊料金等の内訳（第2条第1項及び第12条第1項関係）
ホテル用（朝・夕食又は夕食を伴わない宿泊施設に適用）

		内 訳
宿泊客が支払うべき総額	宿泊料金	①基本宿泊料（室料又は室料+朝食等の飲食料） ②サービス料（①×10%）
	追加料金	③飲食代又は追加飲食（朝食以外の飲食料） 及びその他の利用料金 ④サービス料（③×10%）
	税金	イ. 消費税 ロ. 宿泊税 ハ. その他税

別表第2 違約金（第6条第2項関係）

契約解除の通知を受けた日		契約申込人数				
		不泊	当日	前日	9日前	20日前
一般	14名まで	100%	80%	30%		
団体	15～99名まで	100%	80%	50%	10%	
団体	100名以上	100%	100%	80%	20%	10%

(注)

- %は、基本宿泊料に対する違約金の比率です。
- 契約日数が短縮した場合はその短縮日数にかかわらず、1日分（初日）の違約金を受取します。
- 団体客（15名以上）の一部について契約の解除があった場合、宿泊の10日前（その日より後に申し込みをお引き受けした場合には、そのお引き受けした日）における宿泊人数の10%（端数が出た場合は切り上げる。）に当たる人数については違約金はいただきません。

別表第3 ホテルが準拠する都道府県の旅館業法施行条例（第5条1項、第7条1項関係）

ホテル名	該当する都道府県旅館業法施行条例
ザ・サウザンド キョウト 京都センチュリーホテル 京都タワーホテル 京都タワーホテルアネックス	京都府旅館業法施行条例 第7条
琵琶湖ホテル	滋賀県旅館業法施行条例 第4条

2020/06/01

京都タワーホテル（以下「当ホテル」といいます）の公共性と安全性を維持するため、宿泊約款第10条に基づき、下記のとおり利用規則（以下「本規則」といいます）を定めておりますので、当ホテルをご利用のお客様は、本規則をお守りくださいますようお願い申し上げます。

本規則をお守りいただけない場合は、宿泊約款第7条第1項により、客室および当ホテル内の諸設備のご利用をお断りする場合がございますので、あらかじめご承知おきください。

記

当ホテル内では、次の行為を固くお断りします。

- (1) 暖房用、炊事用、プレス用などの器具をご使用になること。
- (2) 指定された喫煙コーナー以外での喫煙行為をすること。
- (3) 高声、放歌又は喧騒な行為、その他、他人に嫌悪感を与えたり迷惑を及ぼしたりすること。
- (4) 次のようなものをお持ち込みになること。
 - (イ) 犬・猫・鳥類、その他の愛玩動物、家畜等。
 - (ロ) 発火又は引火性の物品、その他の危険物。
 - (ハ) 著しく悪臭を発生するもの。
 - (ニ) 著しく多量な物品。
 - (ホ) 禁制品及び不安を与える物品。
- (5) 賭博及び風紀を乱すような行為をすること。
- (6) 睡眠薬その他の薬物の使用により、他のお客様あるいは当ホテルに迷惑をかける行為をすること。
- (7) 外来者を客室内に招き入れたり、客室内の諸設備、諸物品などを使用させたりすること。
- (8) 当ホテルの諸設備、諸物品をその目的以外の用途に充てること。
- (9) 当ホテルの諸物品の持ち出し及び他の場所に移動させること。
- (10) 当ホテルの建築物や諸設備に異物を取り付け、現状を変更するような加工をすること。
- (11) 当ホテルの外観を損なうような物品を窓にお掛けになること。
- (12) 窓などから屋外に物をお投げになること。
- (13) 当ホテル内で他のお客様に広告物・チラシなどの配布及び物品の販売等の行為をすること。
- (14) 廊下やロビーなどに所持品を放置すること。（長時間に及ぶものは、場合により保管及び中身を調べさせていただく場合がございます。）
- (15) 当ホテル外部から飲食物の出前をお取りになること。
- (16) 寝衣、スリッパなどで客室以外の廊下、ロビーなど各施設をご利用になること。

To maintain the public morals and safety of our Guests at the Kyoto Tower Hotel (hereinafter the “Hotel”), Guests are kindly requested to observe the following Hotel Regulations (hereinafter the “Regulations”) established in accordance with Article 10 of the Terms and Conditions for Hotel Accommodation Contracts.

In the event a Guest fails to observe these Regulations, the Hotel reserves the right to reject the continued use of the Guest’s Hotel room and other facilities in the Hotel, pursuant to Article 7, paragraph 1 in the Terms and Conditions for Hotel Accommodation Contracts.

The following acts are expressly not permitted on the premises of the Hotel.

1. Use of heating or cooking implements, laundry iron presses, and such other electrical appliances.
2. Smoking in locations outside the designated areas.
3. Generating noise such as loud talking and singing, and committing other acts offensive and annoying to other Hotel guests.
4. Bringing any of the following articles onto the premises of the Hotel.
 - a) Dogs, cats, birds, and other animals or pets.
 - b) Combustibles or inflammables, and other dangerous articles.
 - c) Articles emitting foul odors.
 - d) Articles of great bulk.
 - e) Articles prohibited by law or that cause uneasiness.
5. Gambling or other acts that corrupt good public morals.
6. Causing a nuisance to other Hotel guests or to the Hotel under the influence of sleeping pills or other drugs.
7. Bringing visitors into the Guest’s Hotel room and allowing use of the furnishings and articles.
8. Using furnishings and articles in the Hotel in ways other than originally intended.
9. Changing the location of articles in the Hotel or removing articles from the Hotel.
10. Modifying the building or furnishings of the Hotel by installing objects.
11. Hanging articles on the window that ruins the appearance of the Hotel.
12. Throwing items out of windows and from other locations inside the Hotel.
13. Distributing advertisements and fliers and selling products to other Hotel guests inside the Hotel.
14. Leaving personal effects outside the Guest’s Hotel room such as in the hallway or lobby (Articles left for a long time may be kept by the Hotel or opened for inspection).
15. Ordering food and beverage deliveries from establishments outside the Hotel.
16. Wearing sleepwear, slippers, and the like outside the Guest’s Hotel room such as in the hallway or lobby.

Terms and Conditions of Accommodation Contracts

(Applicable scope)

Article 1

1. It is agreed that accommodation contracts concluded between the hotel and the guest and any related contract shall be governed by the provisions of this agreement and any matters not stipulated in this agreement shall be governed by laws and regulations or generally accepted customs.
2. When the hotel accepts a special agreement, subject to not contravening any laws or accepted business practices and notwithstanding the provisions of the preceding paragraph, said special agreement shall prevail.

(Applications for accommodation contracts)

Article 2

1. Applicants for an accommodation contract with the hotel are requested to submit all the following details to the hotel:
 - (1) Name and phone number of staying guest (s).
 - (2) Accommodation dates and estimated time of arrival.
 - (3) Accommodation charges (as a general rule, in line with the basic accommodation charge in Appendix 1).
 - (4) Any other details deemed necessary by the hotel.
2. When a guest proposes to extend their stay beyond the scope of dates specified in item 2 of the preceding paragraph, the hotel shall treat it as if a new accommodation contract had been concluded at the time of the offer.

(Conclusion of accommodation contracts, etc.)

Article 3

1. The accommodation contract is deemed to be concluded when the hotel has accepted the application set forth in the previous Article and the contractual details of the accommodation contract are deemed applicable during the stay. Please also note, when applying to book accommodation via an Internet site, the specific terms and conditions of the reservation site in question shall apply in addition to the hotel accommodation agreement. However, this shall not apply if the hotel can prove that it did not provide consent to the same.
2. When an accommodation contract is concluded pursuant to the provisions of the preceding paragraph, an application deposit defined by the hotel and within the limits of basic accommodation charges to cover the stay (three days for stays beyond 3 days) must be paid by the date specified by the hotel.
3. The accommodation deposit shall initially be offset against the final accommodation fee payable by the guest, but if circumstances as specified in Articles 6 and 18 occur, it shall be used to cover applicable penalties in the appropriate order with the remainder, if any, refunded at the time of settling the accommodation charges according to Article 12.
4. When the accommodation deposit cannot be paid by the date specified by the hotel pursuant to the provisions of paragraph 2, the accommodation contract shall be rendered null and void. However, when a deadline for payment of the accommodation deposit is specified, the above rule only applies if the guest has been informed of the same.

(Special contracts requiring no accommodation deposit)

Article 4

1. Notwithstanding the provisions of paragraph 2 of the preceding Article, the hotel may comply with a special contract requiring no accommodation deposit after concluding the contract.
2. When accepting applications for an accommodation contract, if the hotel does not request payment of the accommodation deposit set forth in paragraph 2 of the preceding Article or does not specify a payment date for the same, it shall be treated as a special contract requiring no accommodation deposit, as detailed in the preceding paragraph.

(Refusal to conclude accommodation contracts)

Article 5

1. When any of the following circumstances apply, the hotel may decline to conclude a contract for accommodation:
 - (1) When accommodation applications do not comply with these terms and conditions.
 - (2) When there are no rooms available due to full occupancy.
 - (3) In the event of temporary closure of the hotel (in whole or in part) due to any natural disasters (earthquakes, typhoons, tsunamis, volcanic eruptions, excessive downpours, etc.), outbreaks of terrorist incidents or international conflicts, requests pursuant to Article 24, Paragraph (9) or Article 45, Paragraph (2) of the Act on Special Measures for Pandemic Influenza and New Infectious Diseases Preparedness and Response, etc. And in the event of inevitable circumstances that render the hotel unable to accommodate guests such as failures of the facility, etc.
 - (4) When it is deemed that the guest may act in a manner against the provisions of laws, public order or accepted principles of morality.
 - (5) When the guest has engaged in assault, wounding, extortion, intimidation, extortion, fraud or similar acts or is likely to do so.
 - (6) When the guest has engaged in particularly noisy or drunken behavior or is likely to do so in a manner that causes significant inconvenience to other guests staying or using the hotel.
 - (7) When the guest is involved in any of various crime syndicates as defined in the "Act on Prevention of Unjust Acts by Organized Crime Group Members". This also applies to anyone involved in any similar organization or entity.
 - (8) When the guest comes into the category described in the preceding paragraph, or is involved with an organization that the hotel deems to be in the same category or when the guest appears to be involved in an organization or entity employing fraudulent means or intimidation, or any other such organization.
 - (9) When the guest is deemed to be involved in a crime or criminal matter which has resulted in arrest, indictment, prosecution or conviction.
 - (10) When the guest has had any previous incident involving late payment of funds to the hotel.
 - (11) When any other reason applies under the category of (4) ~ (10) above.
 - (12) When the guest is clearly recognized as unable to pay the accommodation fee.
 - (13) When the guest is deemed to be acting suspiciously.
 - (14) When the guest is clearly recognized as suffering from an infectious disease.
 - (15) When the guest commits any violent act against the hotel or any of its employees, or imposes any request deemed exceptionally burdensome.
 - (16) When the circumstances are deemed to fall under the provisions of Article 5 of the Ryokan Business Law and the Ordinance for Enforcement of the Ryokan Business Law (Appended Table 3) as determined by the local government in charge of the hotel.

(Right of the guest to cancel)

Article 6

1. The guest is entitled to cancel a contract for accommodation by making a request to the hotel accordingly.
2. When the hotel cancels the accommodation contract, in whole or in part, for reasons attributable to the guest (pursuant to the provisions of Article 3, paragraph 2, when the hotel has requested payment by designating a due date for the application deposit, except when the guest cancels the accommodation contract prior to making payment), a penalty shall be imposed, as set forth in Schedule 2 below.

Terms and Conditions of Accommodation Contracts

However, assuming the hotel has complied with the special provisions of Article 4, paragraph 1, these shall include notifying the guest of the obligation to pay the penalty when the guest cancels the accommodation contract.

3. According to the hotel policy, if the guest fails to arrive by 8.00pm on the scheduled day of stay (or, if an estimated time of arrival is specified, within two hours of the specified time), without any contact, the accommodation contract may be deemed broken by the guest and processed accordingly.

(Right of hotel to cancel contract)

Article 7

1. The hotel may cancel the accommodation contract in the following cases:
 - (1) When the guest is deemed likely to conduct any act against the provisions of laws, public order or accepted principles of morality by the hotel or has already done so.
 - (2) When payment from the guest is not received or is delayed.
 - (3) When the guest makes any false statement at the time of concluding the accommodation contract.
 - (4) When the guest is involved in any of various crime syndicates as defined in the "Act on Prevention of Unjust Acts by Organized Crime Group Members", radical groups or any other similar organizations.
 - (5) When the guest comes into the category described in the preceding paragraph, or is involved with an organization that the hotel deems to be in the same category or when the guest appears to be involved in an organization or entity employing fraudulent means or intimidation, or any other such organization.
 - (6) When the guest engages in assault, wounding, extortion, intimidation, extortion, fraud or similar acts.
 - (7) When there is a risk of the guest engaging in particularly noisy or drunken behavior or when the guest behaves in a manner that causes significant inconvenience to other guests.
 - (8) When the guest is deemed to be involved in a crime or criminal matter which has resulted in arrest, indictment, prosecution or conviction.
 - (9) Otherwise, when any other reason applies equivalent to any of the above categories.
 - (10) When the guest is clearly recognized as suffering from an infectious disease.
 - (11) When the guest commits any violent act against the hotel or any of its employees, or imposes any request deemed exceptionally burdensome.
 - (12) In the event of circumstances that render the hotel unable to accommodate guests such as temporary closure of the hotel (in whole or in part) due to force majeure events such as any natural disasters (earthquakes, typhoons, tsunamis, volcanic eruptions, excessive downpours, etc.), outbreaks of terrorist incidents or international conflicts, requests pursuant to Article 24, Paragraph (9) or Article 45, Paragraph (2) of the Act on Special Measures for Pandemic Influenza and New Infectious Diseases Preparedness and Response, etc.
 - (13) When the guest smokes in bed, tampers with firefighting equipment or engages in other actions prohibited in the usage regulations (restricted to particulars deemed necessary to avoid the risk of fires).
 - (14) When the provisions of Hotel Business Act Article 5 and the Hotel and Ryokan Management Law enforcement regulations (Appended Table 3), as determined by the local government in charge of this hotel, are deemed to apply.
2. When the hotel cancels the accommodation contract pursuant to the provisions of the preceding paragraph, no charge shall be levied for accommodation services not provided to the guest.
3. When the hotel cancels the accommodation contract pursuant to the provisions of paragraph 1 of this Article, no compensatory damages shall be paid.

(Accommodation registration)

Article 8

1. The guest must register the following details at the hotel reception on the accommodation date:
 - (1) Name of guest (including any other staying guests), address, telephone number (including contact information), gender and age.
 - (2) Company affiliation and contact number.
 - (3) For foreigners, in addition to the above (1), nationality, passport number, place of entry and date of entry.
 - (4) Foreign guests without a regular address in Japan should present their passports so that a copy can be made.
 - (5) Departure date and scheduled departure time.
 - (6) Any other details deemed necessary by the hotel.
2. When the guest intends to pay the accommodation charges prescribed in Article 12 by any means other than Japanese currency, such as accommodation coupons or credit cards, these credentials shall be shown in advance at the time of the registration as per the preceding paragraph.

(Occupancy time of guest room)

Article 9

1. The guest is entitled to occupy the hotel accommodation from 3.00 pm on the check-in date to 11.00 am on the check-out date. However, if the guest is staying for consecutive days, the hotel accommodation can be used throughout the day except for the check-in and check-out dates.
2. Notwithstanding the provisions of the preceding paragraph, the hotel may allow use of the hotel accommodation outside the hours specified in the same paragraph. In this case, the following additional charges shall apply:
 - Up to 3 hours, 1/3 of the room rate.
 - Up to 6 hours, 1/2 of the room rate.
 - Over 6 hours, 100% of the room rate.

(Compliance with usage rules)

Article 10

The guest is required to comply with the usage rules of the hotel, as defined by the hotel and posted within the hotel premises.

(Operating hours)

Article 11

1. Information on the operating hours of the main hotel facilities shall be announced on the hotel homepage, pamphlets provided, posted notices and within guestrooms.
2. When unavoidable circumstances apply, these business hours may be subject to change. In this case, the guest shall be notified accordingly.

(Payment of charges)

Article 12

1. A breakdown of the hotel charges payable by the guest and the calculation method are as shown in Appended Table 1.
2. Payment of the accommodation charges as specified in the preceding paragraph shall be made in Japanese yen or via accommodation coupons or credit cards etc. at the reception of the hotel and when requested by the hotel.
3. Once the hotel makes accommodation available for the guest and usability of the same is confirmed, the guest shall remain liable for paying the accommodation charges, even if opting not to use said accommodation.

(Responsibility of the hotel)

Article 13

1. Our hotel will compensate the guest for any damages incurred in the course of fulfilling accommodation and related contracts, or failure to fulfil the same. However, this shall not apply if the circumstances are due to events beyond the control of the hotel.

Terms and Conditions of Accommodation Contracts

- The hotel has taken out innkeeper's liability insurance to cover the risk of fires etc. (also covering liability when unable to provide contracted guestrooms).

Article 14

- When the hotel is unable to provide the guest with the contracted guestroom, the hotel shall - subject to the consent of the guest - arrange to accommodate the guest in accommodation elsewhere of equivalent standard as far as possible.
- Notwithstanding the provisions of the preceding paragraph, if the hotel is unable to arrange alternative accommodation, a compensation fee equivalent to the cancellation charges shall be payable and applied to the reparations. However, this shall not apply if the inability to arrange accommodation is due to events beyond the control of the hotel.

(Handling of deposited items)

Article 15

- In the event of loss or damage of any items, cash, valuable papers or high-priced items (including all valuables) deposited with the hotel, the hotel shall compensate for damage thereby incurred, except when due to events beyond the control of the hotel. However, for cash and valuables, this is contingent on the guest having clearly reported the nature and value of such cash and valuables at our request. Otherwise, the hotel shall compensate for damage up to a maximum amount of 300,000 yen.
- For items, cash, valuable papers or high-priced items (including all valuables) brought into the hotel that have not been deposited at the front desk, the hotel shall compensate for damage or loss of the same when this occurs due to intent or negligence on the part of the hotel. However, unless the nature and value of such cash and valuables have been clearly stated in advance, the hotel shall compensate for damage up to a maximum amount of 300,000 yen.

(Storage of the guest's baggage or personal effects)

Article 16

- When the guest's baggage arrives at the hotel prior to the accommodation date, the hotel shall only accept responsibility for storing the same when it has approved such arrangements in advance and it shall be provided when the guest checks in at reception.
- In the event that any of the guest's baggage or personal effects are misplaced at the hotel after the guest has checked out, as a general rule, the hotel shall await an inquiry from the owner and request guidance on how to proceed. Unless otherwise instructed by the owner, any valuables shall be sent to the nearest police station within seven days, including the date of discovery, while all other items shall be disposed of after three months. However, any food, tobacco and magazines, etc. shall be disposed of on a same-day basis.
- In the case of the preceding two paragraphs, the responsibility of the hotel for storing the guest's baggage or personal effects shall conform to the provisions of the preceding Article; in the case of paragraph 1, the provisions of paragraph 1 of the preceding Article shall apply and in the case of the preceding paragraph, the provisions of paragraph 2 of the preceding Article shall apply.

(Responsibility for parking)

Article 17

- When the guest opts to use the parking lot managed by the hotel (hereinafter referred to as 'Hotel parking lot'), regardless of whether the vehicle key is deposited with the hotel, the hotel shall assign a parking space, but disclaims all responsibility for managing the vehicle. However, if any damages are incurred due to intent or negligence on the part of the hotel when managing the parking lot, the hotel shall be liable for said damages.
- Even when the hotel guest uses the parking lot provided by the hotel, the hotel disclaims responsibility for any accident or theft that may occur within the same.

(Responsibilities of the guest)

Article 18

When the hotel suffers damage due to intent or negligence on the part of the guest, the guest shall compensate the hotel for the damage.

(Disclaimer)

Article 19

- The hotel disclaims liability for any damages suffered by the guest due to intent or negligence on the part of the guest.
- The use of computer communication from within the hotel is at the guest's own risk. The hotel disclaims all liability for any damages incurred as a result of interruptions to the computer communication caused by system breakdown or other reasons, rendering the service unavailable for use. In addition, in the event that any damages are sustained by the hotel or third parties due to actions on the part of the guest deemed inappropriate by the hotel while engaging in computer communication, the guest shall compensate for such damage.

(Prevailing language)

Article 20

- Although these terms and conditions may be written in languages other than Japanese, in the event of any inconsistency or disparity between the original terms and conditions and the translated text, the Japanese text shall prevail in all cases.

(Revision of accommodation terms and conditions)

Article 21

- In response to any change in external factors such as economic conditions and related laws and regulations or in the event of any change to the managerial and operational status of our company, the hotel may revise the contents of this agreement, including the provisions on the fees and scope of services. In such cases, the hotel shall promptly publish the revised information on its website beforehand and clearly indicate the date of the final revision.

Appended Table 1

Breakdown of hotel charges (Referencing Article 2, paragraph 1 and Article 12 paragraph 1)

Hotel usage (accommodation facilities only, excluding breakfast and dinner or breakfast only)

		Breakdown
Total amount payable by guest	Hotel charges	① Basic accommodation charge (Room charge or Room charge + Food and Beverage such as breakfast) ② Service charge (① × 10%)
	Additional fees	③ Meal allowance (additional food and drink) (costs of dining other than at breakfast) Plus any other charges ④ Service charges (③ × 10%)
	Tax	a. Consumption tax b. Occupancy tax c. Other taxes

Terms and Conditions of Accommodation Contracts

Appended Table 2

Penalty (Article 6, paragraph 2)

Date notice of contractual cancellation received		No-show	Same day	Day before stay	9 days before	20 days before
Contracted no. of applicants						
(Normal guests)	Up to 14 persons	100%	80%	30%	/	/
Organization	From 15 up to 99 persons	100%	80%	50%	10%	/
Organization	More than 100 persons	100%	100%	80%	20%	10%

Note:

1. The percentage figure indicates the penalty as a percentage of the basic accommodation charge.
2. If the contracted accommodation period is shortened, a penalty fee of one day (first day's charge) will be collected, regardless of the new length of time.
3. In the event of cancellations within a group booking (15 persons or more), no charges shall apply if the number of people having canceled constitutes less than 10% of the total number of people booked, with fractions rounded up to the next whole number as of 10 days prior to the first day of occupancy (or the date on which the accommodation contract was concluded if less than 10 days prior to the first day of occupancy).

Appended Table 3

Hotel and Ryokan Management Law enforcement regulations of the prefecture with jurisdiction over the hotel (Related to Article 5 paragraph 1, Article 7 paragraph 1)

Hotel name	Applicable prefectural Hotel Business Act enforcement regulations
The Thousand Kyoto Kyoto Century Hotel Kyoto Tower Hotel Kyoto Tower Hotel Annex	Kyoto Prefectural Hotel Business Act Article 7
Biwako Hotel	Shiga Prefectural Hotel Business Act Article 4

2020/06/01